



[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2008年1月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:info@nippon-taiko.or.jp

年頭のごあいさつ



財団法人日本太鼓連盟
会長 紀内 隆宏

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、穏やかな新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年、当財団が設立10周年を迎えた記念すべき年でありました。

1997年にそれまでの任意団体であった全日本太鼓連盟から、新たに財団法人日本太鼓連盟として発足以来、日本財団を始めとする競艇関係団体、太鼓関係団体の皆様のご支援、ご協力を得て順調に10年が経過いたしました。

現在、37都道府県に41支部を設置し、加盟団体数800、会員総数22,000名を数えるに至っております。

10周年を記念し、5月に東京の船の科学館で記念フェスティバルを開催いたしました。いわゆる手弁当にもかかわらず24支部から31団体が参加し、好天にめぐまれた特設会場に、終日太鼓の音が響き渡り財団の10周年を飾るにふさわしい演奏会となりました。

また昨年は、海外の太鼓が活発化した年でもありました。

ブラジルにおいては、日本から講師を派遣し、3月と6月に講習会と検定試験を実施いたしました。ブラジルは、本年6月に日本移民100周年を迎え、皇太子殿下が出席されての記念式典が予定されております。その式典において1,000人太鼓を披露したいとの協力要請が当財団に寄せられ、それに協力するため合同曲の「絆」を小口副会長が作曲され、その演奏指導のため講師を派遣し、ブラジル各地で指導を行いました。

さらにJICA（国際協力機構）のシニアボランティアとして宮崎県の蓑輪敏泰氏を昨年7月から2年間、太鼓の指導員として派遣しています。

海外での新たな動きとして、8月に台湾太鼓協会が発足いたしました。これを記念して10月に「豊の国ゆふいん源流太鼓」を派遣し、台湾各地で演奏を行いました。台湾太鼓協会が、当財団に準じた資格認定制度を導入したいとのことから、昨年12月に講師を派遣し第1回目の講習会および認定試験を実施いたしました。

一方、国内においては従来から実施しております「ジュニアコンクール」を京都府京都市で、「チャリティコンサート」を東京都港区で、「全国フェスティバル」を東京都千代田区で、「全国障害者大会」を静岡県御殿場市で、「シニアコンクール」を石川県小松市で、それぞれ当該支部の協力を得て開催し、多くの方に日本太鼓の魅力、醍醐味を堪能していただきました。

また演奏技術の向上と後継者の育成を目的とした資格認定制度については、全国講習会を3回、支部講習会を5回実施するとともに、教職員を対象とした教職員研修会を7回実施した結果、公認指導員、技術認定員の資格取得者は、それぞれ192名、5,474名となっております。

このように内外において財団の事業が拡大化する中、2008年においても初の北海道での開催となる「全国フェスティバル」を始めとする演奏会事業や「全国講習会」等の技術普及事業を、関係する各支部のご協力を得ながら、内容を充実して進めていきたいと考えております。

これら事業の遂行には、いずれも会員の皆様のご協力が不可欠であり、支部・会員の皆様との協調、連携を図りながら事業運営に当たりたいと考えております。

最後に、2008年が日本太鼓界と会員の皆様にとって良い年になるようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

財団創立10周年記念日本太鼓全国障害者大会 ～心に響け！ドンドンフェスティバル～ 静岡県御殿場市で開催



(開会式で挨拶をする山内理事長)

10月7日(日)、財団創立10周年記念日本太鼓全国障害者大会が、静岡県の御殿場市民会館大ホールで開催されました。

この大会は日本財団の助成事業として行われ、(財)日本太鼓連盟主催、社会福祉法人富岳会共催、静岡県支部主管のもと、厚生労働省、文化庁のほか、地元の静岡県、御殿場市等の後援を賜り実施いたしました。

日本太鼓は、障害者の療育に効用があることが立証されており、社会福祉法人富岳会(山内令子理事長)においては、30年以上前から補助セラピーや自己表現の手段として取り入れてきました。

障害者大会は、1998年に富岳会主催により「第1回全国障害者太鼓演奏会」として静岡県御殿場市で開催されました。その後、より多くの団体にも出演の機会をとの声をいただき、1999年より当財団との共催で、全国大会として実施しております。

財団創立10周年を迎える今回は、障害者大会の発祥の地、御殿場市で日本太鼓に積極的に取り組んでいる25チーム(432名)が13道府県より参加し、一堂に会しました。

初出場は、「南陽園ふれあい和太鼓」(石川県)、「あそかの園同朋太鼓」(山口県)、「のぞみ太鼓」(北海道)の3チームの皆さんでした。なお、北海道と山口県は地域としても初の参加となります。

各団体の演奏の合間には、障害者の皆さんが太鼓との関わりについて発表し、太鼓を通しての自身の成長や、チームの変化などを語ってくれました。いずれのチームも日頃の練習の成果を存分に発揮し、演奏レベルも非常に高く、また各チームがそれぞれの持ち味を生かした演奏を披露していました。全員が、心から太鼓を楽しんでいる様子が印象的でした。来場者は1,000名を超え、ひたむきな演奏と体験発表に惜しみない拍手を送っていました。会場ロビーには、富岳会の皆さんが描いた素晴らしい絵画が展示され、来場者は熱心に見入っていました。

<出演団体>

出演順25団体

☆は初出場チーム

- | | | |
|----|---------------------|-------|
| 1 | 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム | 静 岡 |
| 2 | 二重障害者福祉センター「すまいる」 | 大 阪 |
| ☆ | 3 社会福祉法人南陽園 ふれあい和太鼓 | 石 川 |
| 4 | ファミリーユニット童鼓 | 岐 阜 |
| ☆ | 5 あそかの園同朋太鼓 | 山 口 |
| ☆ | 6 のぞみ太鼓 | 北 海 道 |
| 7 | 石川県立ろう学校 風神太鼓 | 石 川 |
| 8 | やまびこ太鼓 | 福 島 |
| 9 | すみれ太鼓 | 長 野 |
| 10 | 豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」 | 大 阪 |
| 11 | 鼓友 夢光組 | 富 山 |
| 12 | 元太鼓 | 京 都 |
| 13 | 伊豆医療福祉センター「どんつく」 | 静 岡 |
| 14 | 仁寿太鼓 | 島 根 |
| 15 | 豊里学園 和太鼓 鼓粹 | 大 阪 |
| 16 | 新潟ろうあ万代太鼓豊龍会 | 新 潟 |
| 17 | 古塔山びこ太鼓 | 長 野 |
| 18 | 福島県ばんだい荘あおば和太鼓の会 | 福 島 |
| 19 | 静岡県立静岡北養護学校北龍太鼓 | 静 岡 |
| 20 | 諏訪養どんどん太鼓 | 長 野 |
| 21 | 和太鼓ちんどん | 長 野 |
| 22 | 静岡ハンディキャップ太鼓の会 | 静 岡 |
| 23 | 甲州ろうあ太鼓 | 山 梨 |
| 24 | 恵那のまつり太鼓 | 岐 阜 |
| 25 | 富岳太鼓 竜神組 | 静 岡 |



(絵画を見るお客様)



(公演の最後を飾る富岳太鼓)

記念すべき第10回は東京で開催予定
第10回大会は2008年10月5日(日)文京シビックホールにて開催を予定しております。詳細につきましては、事務局までお問い合わせ下さい。

体験発表文紹介

財団創立10周年記念日本太鼓全国障害者大会の発表文をご紹介します。今回が初の出場となる「南陽園ふれあい和太鼓」(石川県)、「あそかの園同朋太鼓」(山口県)、「のぞみ太鼓」(北海道)の3チームの体験発表文をご覧ください。なお、この文章は原文のまま掲載しております。(一部抜粋)

「南陽園ふれあい和太鼓」(石川県)

野口 俊英

石川県から来ました、初参加の南陽園ふれあい和太鼓の元気いっぱい野口俊英です。

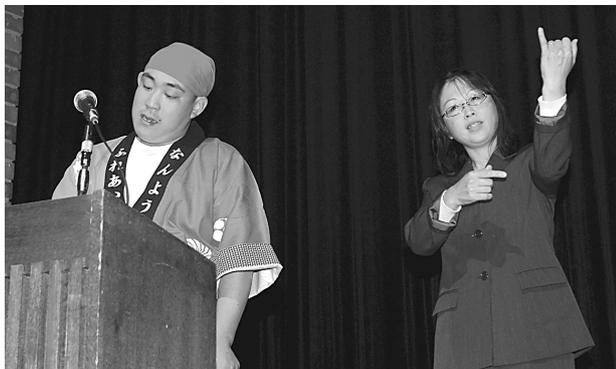
ふれあい和太鼓は、楽しくて、とても明るいチームです。

僕たちは、池田美由紀先生に太鼓を教えてもらっています。池田先生はとてもおもしろい先生です。稽古では池田先生に作ってもらった曲「どんどんわっしょい」や「ハッスル獅子」をやっています。

稽古のなかで、楽しいことは大太鼓をたたくことです。つらいことはありません。

全国大会では、たくさんの人の前で演奏することになりますが、がんばります。僕は元気いっぱい間違えないでがんばります。

見てください。聞いてください。



(南陽園ふれあい和太鼓・野口俊英さん)

「あそかの園同朋太鼓」(山口県)

藤田 勝

やまぐちけんからきました、どうほうだいこです。きょうはこのようなおおきなたいかいによんでいただいていたありがとうございます。

たいこをはじめて3ねんがたちました。これまでおおきなたいかいにだささせていただきましたが、きょうはさらにおおきなたいかいですので、きんちょうしています。

いっしょうけんめいがんばります。

たのしんでみてください。よろしくおねがいます。



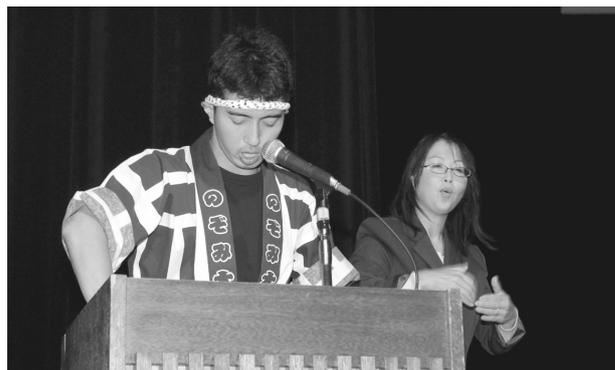
(あそかの園同朋太鼓・藤田勝さん)

「のぞみ太鼓」(北海道)

岩瀬 貴典

僕はのぞみ太鼓をやってもまもなく2年になります。最初にやろうと思ったきっかけは高校時代に太鼓の経験があったので、のぞみ太鼓に入ろうと思いました。また、いつも家に居て楽しみがなかったからです。太鼓をやって楽しい事は友達がいっぱいふえた事です。みんなと仲良く出来るからです。練習で難しい所は曲のテンポにあわせて打つ所です。ふだんの練習では一人一人じゅんばんに打ったり、きそ打ちを打ったりしています。打つ時のかまえかたも、教えてもらっています。手をあげるのも、まっすぐにあげられるように何回も練習しています。

去年は4回ステージ発表に出ました。初めてのステージではすごくきんちょうしました。僕は、みんなの前で、のぞみ太鼓のしょうかいをしました。しょうかいするのは、とてもきんちょうしました。太鼓の浅井先生はとてもゆっくり教えてくれました。これからも太鼓頑張ります。



(のぞみ太鼓・岩瀬貴典さん)

第4回日本太鼓シニアコンクール全国大会開催 ～全国より26組76名が参加～

11月25日(日)、石川県小松市の石川県小松芸術劇場うららにおいて「第4回日本太鼓シニアコンクール」が開催されました。この大会は、60歳以上のシニア層を対象として近年の激しく速い太鼓と違って味わい深い演奏を披露するとともに、熟練した太鼓技術を後進に引継ぐことを目指して実施したものです。

4回目を数える今年も、9都府県より26組76名が参加し、栄えある名人位・文部科学大臣賞を勝ち取ったのは本村清氏(加賀湯の華太鼓・石川県)でした。お客様は、長年培われた深みのある演奏に魅了されておいででした。また同日ジュニアコンクールの石川県予選大会も開催され、参加した子供たちも大会を見学しました。

〈結果〉

- 名人位・文部科学大臣賞・(財)日本太鼓連盟会長賞
石川県知事賞・北國新聞社賞
(社)石川県太鼓連盟会長賞
本村 清 (加賀湯の華太鼓・石川県)
- 準名人・三菱ふそうトラックバス(株)会長賞
山本 和人 (加賀太鼓保存会・石川県)
- 準名人・小松市長賞
北村 喜昌 (加賀太鼓保存会・石川県)
- 準名人・テレビ金沢賞
田中 寛次郎 (山鹿太鼓保存会・熊本県)
- 準名人・北陸放送賞
河合 睦夫 (越中いさみ太鼓保存会・富山県)



(名人位 本村 清氏)

福島で全国講習会、道央で支部講習会を開催

〈第30回日本太鼓全国講習会(福島)〉



(挨拶をする猪越支部長)

11月17・18日(土日)、福島県支部主管の全国講習会を、片平ふれあいセンター(福島県郡山市)を中心に実施いたしました。地元福島県をはじめ、全国21都道府県および、台湾からの参加も含めた総数約

120名が受講しました。

開会式は、福島県支部を代表して猪越支部長から励ましと歓迎の挨拶があり、講習会が始まりました。

閉会式では、当財団の塩見理事長も見守る中、受講生達は2日間の成果を力一杯披露していました。

なお、今回は障害を持った受講生2名が5級にチャレンジし、ともに合格しました。

- 専門講座 講師

御諏訪太鼓講座	小口 大八氏
八丈太鼓講座	菊池 修氏
縮太鼓講座	渡辺 洋一氏
- 基本講座 講師

総合指導	古屋 邦夫氏
3級基本講座	鈴木 孝喜氏
4級基本講座	渡辺徳太郎氏
5級基本講座	松枝 明美氏

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定	18名受験	6名認定	(14名合格)
2級検定	37名受験	16名認定	(36名合格)
3級検定	12名受験	4級検定	14名受験
5級検定	24名受験	全員認定	

〈第38回日本太鼓支部講習会(道央)〉

11月3・4日(土日)、北海道道央支部主催による支部講習会が札幌芸術の森野外ステージで行われ、4級基本講座・専門講座(御諏訪太鼓講座)に地元北海道をはじめ35名が参加しました。開会式は、橋本支部長の挨拶で始まり、2日間にわたる講習会がスタートしました。2日間とも秋晴れとなり、受講生は寒さに負けず元気に講習を受けていました。

- 基本講座 講師

総合指導	古屋 邦夫氏
4級基本講座	橋本 光司氏
- 専門講座 講師

御諏訪太鼓講座	小口 大八氏
---------	--------

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

2級検定	7名受験	5名認定	(7名合格)
4級検定	22名受験	22名認定	



(挨拶をする小口副会長)

「台湾日本太鼓公演」

台湾太鼓協会発足を記念して



(台中市庁中庭で太鼓を楽しむ蕭副市長)

10月15日から23日にかけて台湾に、「豊の国ゆふいん源流太鼓」を派遣しました。これは、8月にブラジル、アメリカに続く3団体目の海外太鼓組織発足を記念し、実現したものです。台湾（台北、台中、嘉義市）で計6回の公演と1回のワークショップを行いました。

台湾は気候も治安も良く、観客の皆さんは日本太鼓演奏を大きな拍手で迎えてくれました。

その中でも一番の盛り上がりを見せたのは、台北市政府親子劇場で行われた公演でした。

観客動員総数は4,000人を超え、いずれの公演でも盛大な拍手が演奏者に送られ、公演の成功を物語っていました。

また、台湾太鼓協会の要請を受け、12月22・23日（土日）には台湾で初めてとなる講習会・認定試験が実施されました。

台湾における日本太鼓の普及・振興を通じて、両国の文化交流が一層深まることを期待しております。

(10月19日付「TAIPEI TIMES」掲載)



BANGING THEIR OWN DRUMS

A drum troupe from the Nippon Taiko Foundation yesterday performs outside Taichung City Hall to promote their performance in Taichung's Chung-Hsin Concert Hall this evening.



(博如日本幼稚園で演奏する豊の国ゆふいん源流太鼓)

「台湾公演をふりかえって」

豊の国ゆふいん源流太鼓 河内 龍太郎

僕は、10月14日に初めての海外公演に出発しました。夕方の飛行機で東京に向かい、その日は成田空港近くのホテルに一泊しました。そこで、日本最後の夕食を取りました。翌日10時の飛行機でいよいよ台湾へ出発です。昼すぎに台湾桃園国際空港に到着しました。3時間位のフライトで意外と近いなと思いました。

空港に着くとガイドさんと合流しました。見た目は、恐かったけどとてもいい人でした。この日は本番がなかったので、ホテルで締太鼓のロープをほどき、紐をしめる準備をしました。次の日、台北市か

ら嘉義市に移動し、その翌日は本番がある日だったので朝から会場入りしました。とても広い会場でビックリしました。太鼓をトラックから降ろしたり、紐をしめたり夜の本番に向け準備しました。昼食後、リハーサルが始まりました。太鼓や照明の位置を決め、一段落したら嘉義市の市長さんにあいさつに行きました。僕にとってはすべてが初めての事ばかりだったので驚きの連続でした。そして、あいさつも終わり又リハーサルが始まりました。そして4時くらいに、塩見理事長が会場に到着しました。僕は、本番が近づくにつれて緊張してきました。いよいよお客さんが会場に入ってきました。僕たちは衣装に着替え、ステージに上がり、ついに本番が始まりました。台湾に来てからあまり太鼓を打ってなかったので不安だったけど、いざバチを握るとちゃんと太鼓が打てたので今まで練習して来てよかったです。お客さんの反応もよく、とてもいい公演が出来たのでとてもよかったです。その後でみんなで夕食を食べに行きました。台湾のご飯は何処の店に行ってもおいしく、特にスイカジュースがおいしかったです。次の日は、嘉義市を見学しながら台中市へ移動する日でした。台中は嘉義に比べて都会で、日本と違い、バイクの量がとても多かったです。ホテルに到着してから台中愛伯特太鼓団の方たちと食事をしました。翌日は台中市中興堂での本番でした。公

演も中盤にさしかかるところ、塩見理事長と台湾太鼓協会の代表の方がステージでチームのメンバーを一人一人紹介してくれました。僕の順番になると、塩見理事長は僕が今日誕生日であることを言うてくれて観客のみなさん全員に拍手をいただきとっても感動しました。今まで生きて来た中で、一番思い出に残る誕生日になりました。また、夕食の時にはケーキを台湾の方が用意してくれてとってもうれしかったです。翌日は、台北市へ移動してすぐに太鼓の搬入をしました。この日の会場は、世界一高いビル「台北101」のすぐ隣でした。夜の本番に向け夕方まで練習しました。ずっと太鼓を打って来ているので、最初の方に比べると全然違う打ち方になって来て、やっぱり太鼓は日々進歩だなと実感させられました。この日も大成功で、お客さんもとても喜んでくれて、今まで太鼓をやって来てよかったと思う瞬間でした。次の日は東呉大學傳賢堂で、太鼓講習会と公演を行いました。講習会では、台湾のチームに太鼓を少し教えました。夕方の太鼓公演は大成功でお客さんの拍手がものすごかったです。それか

ら台湾太鼓協会の方たちと夕食を食べました。言葉は、わからないけれど色々な話をし、とても楽しい人たちでした。違う国の人と話した事がなかったのでどう接したらいいかわからなかったけど、楽しく会話ができました。次の日は、博如日本幼稚園に行って子供たちの太鼓を聞きました。夕方、台北日本人学校に太鼓公演に行きました。これが台湾公演最後の公演だったので、いつも以上に気合を入れました。太鼓公演は大成功でした。これで人生初の海外公演を無事に終えることができました。行く前は、どうなるかと思っていましたが、終えてみると早いものでした。また、海外公演にぜひ行きたいです。

＜派遣メンバー＞

豊の国ゆふいん源流太鼓

長谷川 義 (代表)、河野 勝己、長谷川 準
田中 俊亮、佐藤 豊、大島 己直、河内 龍太郎

(財)日本太鼓連盟

塩見 和子 (理事長)、大澤 和彦 (事務局長)
印出 公平 (事業課長代理)、村上 静香

日本太鼓が関係団体に協力

親子いきいきランド

10月28日(日)、「親子いきいきランド」が埼玉県の屋内ゲートボール場すぱーく岡部にて開催され、約100名の親子が参加しました。開会式での高野支部長の挨拶に続き、埼玉県支部から、「小前田上町屋台囃子保存会」がお囃子、「重忠太鼓保存会」がひよどり越えを題材にした創作太鼓を披露しました。その後、高野支部長による秩父音頭の太鼓指導を参加者全員が受講しました。最後は成果発表が行われ、太鼓に合わせて秩父音頭を演ずる人達も加わりイベントは前日の台風一過に相応しい秋晴れの下、成功裡の内に終了しました。



(挨拶をする高野支部長)

おおむら太鼓連くじら太鼓表彰

11月1日(木)、長崎県大村市役所において、おおむら太鼓連くじら太鼓代表で1級公認指導員である田中俊己氏が大村市教育委員会より「教育功労団体」として表彰されました。これは大村市の教育文化の発展に功績があった団体や個人が表彰されるもので、近年の活動実績に加え、昨年のジュニアコンクールの優勝が評価されたものです。引き続き、11月23日(金)には長崎県より県民表彰の「特別賞」として表彰を受けました。心よりお祝い申し上げます。



(表彰式)

富岳太鼓30周年を迎えて

今年で、社会福祉法人富岳会が音楽療育に太鼓を取り入れて30年となり、これを記念して12月7・8日（金土）に和太鼓療育研究発表と和太鼓療育実践発表が行われました。30年の節目を迎えて、山内令子理事長にご寄稿いただきました。

社会福祉法人 富岳会
理事長 山内 令子

昭和52年（1977）に、音楽療育の一環として和太鼓による療育を始めて今年度で30年を迎えました。健康な体力づくり、さまざまな障害の克服、また、地域との交流や人と人とのコミュニケーション手段等として日本の伝統芸能の和太鼓を取り入れました。今日まで私どもの活動へのご支援、ご協力、ご提言をいただきました方々に心からお礼申し上げます。

20年前、「10周年を記念して」の研究史刊行に私は「和太鼓による療育の可能性に信念を持ち、また、それに応えてくれた利用者の方々に支えられ、夢中でここまでやってきました。」と書かせていただきましたが、今まさにその想いの延長上にあります。そして当時より一層の厚み、深さと重み、特に初の提唱者として責任の重みを喜びと共に感じております。

今から30年前、障害者のリハビリに和太鼓を取り入れている施設は無いに等しく、関心すらありませんでしたが、和太鼓にひかれ何かを強く感じていたあの頃の自分を時折思い起こすのです。太鼓が民族や地域のその時々行事や祭りに付き物であり、欠かす事のできないものである事を改めて思い、その音が人々をひきつけ、大人も子供もそのドンドンという音に心を動かし、楽しまされたり勇気付けたりもします。私の関わるこの障害を持つ彼ら彼女らもそうしたことはまったく変わりはないという事実を知ったとき、これを療育の1つに、いや、その中心に捉えようと思ったのでした。むしろ、その彼女らに気づかされ、教えられたのです。

私共の実践する和太鼓療育は「太鼓を学ぶ」のではなく、「太鼓で学ぶ」という基本理念のもと、和太鼓に触れる中で、技術の向上だけを目的とせず、

機能回復や体力の維持・向上は勿論、集中力、協調性、コミュニケーションなど人が社会で生活していくなかで必要なものを学んでいこうということに視点を置き、活動を展開してまいりました。

「どんな重い障害を持った人でも、私達があらゆる可能性に目をむけ、努力を惜しまなければ、必ず潜在する能力を引き出し、伸ばす事ができる。」という30年前の信念は、その実践を通じて一層大きなものとなり、確かなかたちで結果をだしてくれました。

今では和太鼓を通じた活動は全国的にも広がり、「日本太鼓全国障害大会」にも財団法人日本太鼓連盟の支援・主催をいただいて10回を数えます。

片や、地域の活性化やコミュニケーション形成の一翼を担ったり、更には地域芸能の太鼓の掘り起こしや保存伝承の火つけ役をしたり、遠い過去から地域で培ってきた地域文化活動とも手を携えてきました。特に障害者対象だけでなく、富岳太鼓活動が地域青少年の健全育成活動に貢献できている事や、そうした活動の他団体との連携も視野に入れての多くの行事作りに協力できていることも、幅の広さを感じざる喜びでもあります。

この度、富岳会和太鼓療育30周年記念事業を開催し、今までのさまざまな活動と、日本の伝統芸能のひとつである和太鼓を取り入れた療育の大きな成果を「療育研究発表」と「舞台での実践発表」という形で世に問うことにしました。

今後も、皆様からの率直で貴重なご意見・ご教示をいただき、私共もこれを機にこれまで以上の努力研鑽に勤める覚悟でございますので、一層のご理解ご協力ご支援をいただきたくお願い申し上げます。

事務局だより

講習会のお知らせ

第31回日本太鼓全国講習会（長崎県大村市）

期 日： 2008年2月9・10日(土日) 主 催： (財)日本太鼓連盟
主 管： 全九州太鼓連合、(財)日本太鼓連盟長崎県支部
会 場： シーハットおおむら（長崎県大村市幸町25-33）
講 座： 専門講座 三ツ打太鼓講座（複式単打法） 河合 睦夫氏（富山県）
縮太鼓講座（単式単打法） 渡辺 洋一氏（東京都）
秩父屋台囃子講座（複式複打法） 高野 右吉氏（埼玉県）
基本講座 総合指導 古屋 邦夫氏（技術委員会委員長）
3級基本講座 安江 信寿氏（1級公認指導員）
4級基本講座 若山 雷門氏（1級公認指導員）
5級基本講座 松枝 明美氏（1級公認指導員）
申込先： (財)日本太鼓連盟長崎県支部 〒856-0027 長崎県大村市植松3-686-11
代表者 田中 俊己 Tel/Fax. 0957-53-8803 携帯電話. 090-8910-2803

※療育としての日本太鼓シリーズは紙面の都合上お休みさせていただきました。

ジュニアコンクール出場団体決定 (33都道府県44チーム)

総務大臣杯・文部科学大臣賞 第10回日本太鼓ジュニアコンクール

名称: 総務大臣杯・文部科学大臣賞 第10回日本太鼓ジュニアコンクール
期日: 2008年3月23日(日) 開場10:00 開演10:30 閉会式終了予定19:00 (リハーサルは前日)
会場: 松任総合運動公園文化体育館 (石川県白山市倉光4-22)
入場料: 前売券 2,000円 当日券2,500円

第10回大会は、各都道府県の支部予選で優勝したチーム等が一堂に会し、これまで以上の熱演が予想されます。出場者には、お互いを思いやり、礼節を重んじ、ジュニアらしく真摯で元気ある演奏を期待しております。

出場団体:

寿子ども蝦夷太鼓同好会 (道東)、厚別本陣はまなす太鼓 (道央)、夕張太鼓保存会「竜花」(道西)、颯太鼓 (道南)、みよこ太鼓 (青森)、大船渡農業高校大農太鼓部 (岩手)、利府太鼓 (宮城)、大館曲げわっぱ太鼓ジュニア「若杉」(秋田)、岩代國郡山うねめ太鼓保存会 小若組 (福島)、山木屋太鼓クラブ (福島)、やんさ太鼓 (茨城)、和太鼓キッズゆりかご (栃木)、藤岡市民太鼓 夢現 (群馬)、川越ふじ太鼓 (埼玉)、和太鼓 凧 (千葉)、邦楽アカデミー和太鼓大元組ジュニア (東京)、秦野観光和太鼓 (神奈川)、子不知太鼓 (新潟)、越中いさみ太鼓保存会 飛龍組 (富山)、輪島・和太鼓 虎之介 (石川)、手取亢龍若鮎組 (石川)、サスケ (石川)、九谷太鼓 若獅子組 (石川)、湯涌ちびっこどどん (石川)、山梨県立山梨園芸高等学校すいれき太鼓部 (山梨)、御諏訪太鼓子供会 神童太鼓 (長野)、上石津もんでこ太鼓少年部 (岐阜)、赤石太鼓保存会 (静岡)、尾張新次郎太鼓保存会 (愛知)、大和の響き 京 (京都)、金光藤蔭高等学校和太鼓部”鼓響” (大阪)、豊岡こうのとり太鼓 (兵庫)、掛合太鼓ジュニア (島根)、博多おっしょい太鼓 (福岡)、不知火太鼓 (佐賀)、諫早天満太鼓 (長崎)、熊本市立必由館高校 和太鼓部 (熊本)、人吉ねぶか太鼓 (熊本)、院内童龍太鼓 (大分)、橘太鼓「響座」ジュニア (宮崎)、華太鼓かんなの会 ふじ組 (宮崎)、山川ツマベニ少年太鼓 (鹿児島)、霧島九面太鼓保存会 郷花 (鹿児島)、比屋根華太鼓 (沖縄) (順不同)

*昨年度より参加規程が変更され、支部予選に21チーム以上が参加した場合 (同一団体から複数参加した場合は1チームとみなす) は、2チームが全国大会に出場できることとなりました。これにより福島、熊本、宮崎、鹿児島は4支部からは2チームが参加します。なお、大会開催地の石川県支部は、これまでと同様5チームが参加します。また、今回不参加の支部は道北、山形、福井、三重、奈良、広島、鳥取の7支部です。

特別出演: おおむら太鼓連くじら太鼓 (長崎・第9回日本太鼓ジュニアコンクール優勝チーム)
イビウナ龍舞太鼓 (2007年度第4回全ブラジル太鼓選手権大会優勝チーム)

2008年度の予定

全国講習会

2008年5月31日・6月1日(土日) 七ヶ浜国際村 (宮城県七ヶ浜町)
2008年11月8・9日(土日) 安曇野市堀金総合体育館 (長野県安曇野市)
2009年2月7・8日(土日) 佐賀県総合体育館 (佐賀県佐賀市)

日本太鼓チャリティコンサート

2008年6月3日(火) 草月ホール (東京都港区)

第12回日本太鼓全国フェスティバル

2008年7月13日(日) 札幌市教育文化会館大ホール (北海道札幌市)

第10回日本太鼓全国障害者大会

2008年10月5日(日) 文京シビックホール (東京都文京区)

文部科学大臣賞 第5回日本太鼓シニアコンクール

2008年11月23日(日) 七尾市和倉温泉観光会館 (石川県七尾市)

総務大臣杯・文部科学大臣賞 第11回日本太鼓ジュニアコンクール

2009年3月22日(日) アクトシティ浜松 (静岡県浜松市)

☆支部講習会については詳細が決まり次第お知らせいたします。